

日本伝熱学会関西支部 第23期 第2回講演討論会

日 時：2016年8月1日(月) 13:30 - 16:50

会 場：大阪市立大学 梅田サテライト ホール

〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-600 (大阪駅前第2ビル6階)

<https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access#umeda>

13:30 - 14:15 西田 耕介 氏 (京都工芸繊維大学 機械工学系)

題目：光ファイバを用いたレーザ吸収分光法によるガスセンシング技術の開発と応用

概要：実作動状態の燃料電池や蓄電池等の内部現象を捉えるための計測・診断技術のニーズは高い。我々の研究グループでは、光ファイバを用いたレーザ吸収分光法により、燃料電池流路など狭小領域内での反応ガスの成分分析が可能なガスセンシング技術の開発を試みている。本講演では、その取り組みを紹介する。

14:15 - 15:00 四宮 徳章 氏 (大阪府立産業技術総合研究所 加工成形科)

題目：金属加工分野における熱の利用と材料 - 工具間の伝熱制御

概要：金属プレス加工では、加工精度や製品品質に及ぼす加工発熱の影響が問題になっている。本講演では、その熱を上手に利用・制御することで成形性の向上や寸法精度の向上が達成できた研究事例について紹介する。

15:00 - 15:20 休憩

15:20 - 16:05 Brus Grzegorz 氏 (AGH University of Science and Technology, Poland)

題目：Catalytic Methane Steam Reforming for Solid Oxide Fuel Cell Application

概要：The presented study focuses on a complex coupling of heat and mass transfer, thermodynamic analysis and kinetics studies to develop a new generation of miniaturized reforming units.

16:05 - 16:50 河原 源太 氏 (大阪大学大学院基礎工学研究科)

題目：貫通壁を有するチャンネル乱流における熱運動量輸送の非相似性

概要：貫通壁を有するチャンネル乱流における非相似的な熱運動量輸送を直接数値シミュレーションにより調べた結果を報告する。貫通壁面上に形成される乱流構造は非貫通壁とは本質的に異なり、運動量に比べ熱の輸送を選択的に促進することを明らかにする。

17:30 頃～ 意見交換会

会場：

会費： 4000円程度を予定

講演会・意見交換会のご出席を京都大学 岸本将史 (kishimoto.masashi.3m@kyoto-u.ac.jp)宛てに『7月22日(金)』迄にお知らせください。

大阪市立大学 梅田サテライトアクセス

JR 東西線「北新地駅」下車、徒歩約 3 分

JR 大阪環状線、東海道線「大阪駅」下車、徒歩約 10 分

地下鉄四つ橋線「西梅田駅」下車、徒歩約 5 分

地下鉄谷町線「東梅田駅」下車、徒歩約 10 分

地下鉄御堂筋線「梅田駅」下車、徒歩約 10 分

阪神電鉄「梅田駅」下車、徒歩約 10 分

阪急電鉄「梅田駅」下車、徒歩約 15 分



大阪駅前第2ビル6階